

会 議 録

会議名 (審議会等名)		小金井市防災会議		
事務局 (担当課)		総務部地域安全課 防災消防係		
開催日時		令和元年10月28日(月) 午前10時00分～午前11時28分		
開催場所		小金井市役所本庁舎3階 第一会議室		
出席者	委員	会長：西岡 真一郎 委員：田原 なるみ・住野 英進・大熊 雅士・今枝 正一・木下 隆一・東谷 知幸・中村 裕・笹島 繁・近藤 康裕・山本 裕之・数見 勲・鈴木 陽子・川畑 美和子・立石 静子・田川 尚子・森田 純司・笠原 富美子・延 毅彦・佐藤 義明・土屋 義弘・中村 哲 代理出席：竹崎 (陸上自衛隊)・伊藤 (小金井警察署)		
	事務局	加藤 総務部長・大関 課長・原嶋 係長・湯浅 主事・福山 主事		
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 令和元年度小金井市総合防災訓練の実施について 2 小金井市地域防災計画の修正(差替え)について 3 その他 台風15号及び台風19号の被害及び対応の報告		
会議結果		資料に基づき事務局が説明を行い、審議の結果、原案のとおり決定・承認された。		
提出資料		資料1 小金井市防災会議委員名簿 資料2 小金井市防災会議条例 資料3 令和元年度小金井市総合防災訓練実施要綱(案) (別添1) 令和元年度小金井市総合防災訓練体系(案) (別添2) 令和元年度小金井市総合防災訓練進行表(案) 資料4 令和元年度小金井市総合防災訓練実施細目(案) (別添) 講評整列位置(案) 資料5 訓練会場案内図 資料6 小金井市地域防災計画の修正(差替え)について 資料7-1 台風15号による被害状況について 資料7-2 台風19号による被害状況について 資料7-3 避難者人数一覧		

1 開会

2 会長挨拶

3 委員の紹介

前回会議以降変更になっている委員（28人中5人）を順番に紹介した。

4 資料説明

資料1～7の確認

5 議題及び審議結果

(1) 令和元年度小金井市総合防災訓練の実施について

（会長）

事務局から説明をお願いします。

（事務局 湯浅）

「令和元年度小金井市総合防災訓練の実施について」資料3～5に基づき説明した。

（会長）

途中、説明がありましたが、資料3及び4にそれぞれ一か所ずつ「市南東部」とあるのは「市南西部」の誤りですので修正をお願いします。

何かご意見ご質問ありましたら挙手にてお願いします。

（公募 中村委員）

訓練のなかで是非付け加えて頂きたいのは、今年でなくて来年で結構なのですが、自宅避難ということ。地震が起こったらみんな避難所へ行くのが当たり前とっていますが、これはいけないと思う。まずは必要なものを備えて自宅で過ごす。そして近所で困っている人がいないかどうか、火事が発生していないかどうか、それを見るのが第一かと思います。最近地震の会議に行っても、地震が起きてもすぐ避難所へ行かないということがどうも常識になっているようで、先生によっては避難所に来るな、という人もいますから、来年の防災訓練には是非付け加えて頂きたいと思います。

（事務局 原嶋）

ただいま頂いたご意見、非常に正しいというか、私たちも是非進めなければいけないと思っております。来年度以降、そのところをどのように強化していけるか、今後検討して実現に向けて進めていきたいと考えております。

（会長）

大変貴重なご意見ありがとうございました。来年度に向けてしっかり検討していきたいと思しますので宜しくお願いします。またシェイクアウト訓練ということで、全ての市民を対象に呼びかけて訓練もしております。こういった状況も踏まえて、どのような形で改善いけるか検討していきたいと思っております。

他にございますか。

(公募 土屋委員)

大地震となると、消防も警察も自衛隊も全部相互通行で参加してもらわないとなかなか対応できないと思います。こういうふうに9時半から11時までとか、細かく分けて頂いて分担すると一意にはなると思いますが、何か緊急で災害が起きたときに指揮命令系統がそれぞれにバラバラに動くのは非常にまずいと思います。その時に市長から指揮命令系統が行くのか、それとも特別な、助役なり総務部長なりが指揮のトップになって、他の機関に連絡するのか、指揮命令系統は訓練しておくことが必要だと思います。この訓練のように何時に集合して何時に動き出すというのも重要ですが、大きな災害が突然に始まったときに指揮命令系統が対応できるような訓練も、今後考えても良いかと思います。

(事務局 原嶋)

貴重なご意見ありがとうございます。地震などで立ち上がる災害対策本部の、ブラインド的な訓練を含む一連の訓練かと思えます。こちらの訓練も、現在しばらくやっていないのですが、今後企画して、どのようなストーリーでどのようなものが適切なのか、検討して実現させていきたいと考えております。

(会長)

貴重なご意見ありがとうございます。防災訓練と同時にやるのか、単発でやるのか、いろいろ考えてみたいと思います。中には抜き打ちで、職員、部長級を対象に土日などに緊急参集という訓練をしているところもあると承知しております。今般の台風19号でも、職員参集、警戒本部の設置などの対応をしました。担当職員も徹夜で対応して、避難所設営の職員も各避難所で努力をいたしました。一方で課題も頂きました。今お話のあった指揮命令系統、私自身が災害対策本部の長となります。併せて、各担当の方々との緊密な連携、迅速な判断が必要となってまいります。そういったことの訓練ということも念頭に置いて是非検討させて頂きたいと思います。他にどうぞ、何かございますでしょうか。

消防署長や消防団長の方から防災訓練について何かございますか。大丈夫ですか。

それでは無いようですので、資料3、4に基づきまして、11月17日日曜日、小金井市立南中学校において総合防災訓練を実施させていただき準備を進めてまいります。なお今後、修正などが発生した場合には事務局にご一任をいただきたいと思います。改めまして、防災訓練当日に向けて、本日まで出席の皆様方のご協力を併せてお願いしたいと思います。皆様どうぞよろしく願います。

## (2) 小金井市地域防災計画の修正について

(会長)

事務局より説明をお願いします。

(事務局 原嶋)

「小金井市地域防災計画の修正（差替え）について」資料6に基づき、説明した。

(会長)

ただいま、事務局より説明がございました。

補足をいたしますが、現在小金井市では、新庁舎・(仮称)新福社会館の建設に向けた基本設計の作業を進めているところでございます。市域中心部にございます庁舎建設予定地に庁舎機能、新しい庁舎、そして既に返還しました福社会館の機能、またこの福社会館の中には現在市の西側に位置しております保健センター、健康課、ファミリーサポートセンター、子ども家庭支援センターの全ての機能を含みます。この新庁舎と福社会館の複合施設の建設に向けまして、基本設計を行っているところでございます。昨日は、商工会館の2階におきまして、この基本設計の前期設計レビューというものが行われました。基本設計作業の進捗状況を基本設計等選考委員会の方々にご報告させて頂きました。併せて市民の方々にも公開をさせて頂きまして、現在進めている基本設計の中身につきまして報告をさせていただいたところでございます。言うまでもなく庁舎は、防災拠点となります。今、目指しているこの複合施設は、行政拠点、防災拠点、地域共生社会の拠点となるべく、鋭意その作業を進めているところでございます。

それでは、何かご意見などございましたらお願いいたします。

(公募 中村委員)

土砂災害について見解を申します。今回台風19号で避難勧告を出されたこと、これは大変素晴らしいと思います。60年前の狩野川台風の時、東京・神奈川は土砂災害が多発しております、それと同じくらいの雨量がありますので、今回も土砂災害が多発してもおかしくはなかったと思います。おそらく先行雨量が少なかったのも、あまり被害が無かった。東京で17箇所ですか、狩野川台風と比べると被害が少ないですね。あれを見て我々専門家が思ったのは、あれだけ雨が降っても崩れるか崩れないかは分からないな、関東ロームの斜面はやはり難しいしよく分からんわ、と。確かにそうなんです。専門家でもここが危ないここが安全というのはよく分からない、というのが正直なところですよ。土砂災害警戒区域に指定されたところがございますけども、あれ以外のところもそんなに大きな違いはないよ、指定されていないところも危ないんだよ、ということを念頭に置いて対処していただきたいと思います。

(事務局 原嶋)

大変参考になるお話でした。土砂災害警戒区域以外のところも危ないということについては、今回、台風21号の被害で千葉県の方に土砂災害がありまして、その中でも、死者が出たところで土砂災害警戒区域に指定されていなかった場所があると聞いております。そのようなことも参考にしながら、今後の広報活動、警戒活動につなげていきたいと考えております。

(会長)

貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

(公募 中村委員)

すみませんまだありました。避難勧告発令の判断基準ですが、メッシュ情報、あれが非常に役に立つんですけども、いざという時にこれが見られるかどうか。というのも今回台風19号の時に、私は川の状態などをインターネットで見っていたのですが、途中で固まってしまっただけで見られなくなるサイトが結構ありまして、そのメッシュ情報だけに頼るのはダメなんじゃないかなと。見られなくなった時のことを考えておく必要はあると思います。

(事務局 原嶋)

情報源の複数化、複線化というところだと思います。確かにインターネット、川の防災情報とかで見づらいことがございました。インターネットでは見づらいですが、東京都防災行政無線のほうでそちらも見られるということで、私どもは見られたのですが、市民に対する広報については、市民はインターネットしか見られませんから、それは考えなければいけないな、と思っております。それも広報活動の今後の検討課題かと考えております。

(会長)

ありがとうございました。土砂災害警戒区域につきましては資料の4ページから5ページにかけて、修正された警戒区域10か所、特別警戒区域8か所と記述させていただいておりますが、それ以外につきましても、土砂災害に対する警戒をしっかりと怠らないようにというご指摘でございまして、貴重なご意見でございます。また、アクセスの集中などで災害情報関係のシステムが市民の方が見られなくなっていたという状況は私どもも把握しているところでございます。今後、小金井市が得ている情報を市民の方々に、どのような形で適切に広報していけるかというのは今回私たちも課題として直面したところでございます。今後の改善に向けて様々な検討をしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

他にございますでしょうか。

無ければ、小金井市地域防災計画の修正については以上にに基づき進めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

### (3) その他

(会長)

台風15号及び台風19号の被害及び対応の報告を議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

(事務局 大関)

「台風15号及び台風19号の被害及び対応の報告」資料7に基づき、説明した。

(会長)

それでは皆様方から、ご意見ご質問ございましたらお願いします。

当日、また翌日におきましては本日お集まりの関係機関の皆様方にはご協力をいただきました。

ありがとうございました。何かございますでしょうか。

それでは無いようですので、全体を通じて本日お集まりの委員の方々から防災に関する全体的なことでご意見ご質問ありましたらお寄せいただきたいと思います。どうぞ。

(小金井市自主防災組織運営協議会 佐藤委員)

こないだ自主防の臨時総会がありました。台風の場合、自主防が表に出て確認するというのはすごく難しいです。うちなども役員の方から、会長どうしましょうかという話もあったのですが、やっぱり物が飛んできたりすることもあるだろうから。消防団が12時頃まで詰所に居てくれたのですかね、団長。

(小金井市消防団 木下委員)

はい。

(小金井市自主防災組織運営協議会 佐藤委員)

消防団はすごく頑張って地域を回ってくれたので、市との連絡は密にできていたと思います。ただ、私たち自主防は、あくまでも震災を主眼としています。台風のような災害ですと、そういう役所の人たち、消防署や警察署とは違って、出て行って何をやるということはまず出来ないと思うんです。自主防は二十いくつかありますが、バラバラに活動しているんですね。こないだの千葉の台風を見ていると、携帯電話が停電でダメになっている。起きたことをMCA無線で報告するとなると今度はMCAがパンクしちゃうわけですよ。さっき公募委員がおっしゃったように災害対策本部ができるまでの間はロスがあるわけですね。私たちは1分後から動けるわけです。今の時間なら1時間後には災害対策本部が動けるでしょうけど、地震が夜中にあるか朝方にあるか予測はつきません。そういう場合、私たち自主防で、例えば電柱が何本倒れています、道路のどこから漏水していますとまとめて報告する、そういう自主防向けのマニュアルを作っただけないかという意見がこの前出ました。とりあえずまとめて、バイクでも自転車でもいいから、災害対策本部に届けると。災害対策本部はそれによって、東電とか消防署に連絡すると。私たちが電話をかけてもほとんど出ないと思うんです。だけど市民からは、会長どうなりました、と必ず聞かれるわけですよ。届けていけば、災害対策本部に送りましたよ、と言えます。災害対策本部を中心に地域活動をしていく形をとらないと、自主防がバラバラに活動して避難所運営やいろんなところに目が向いてしまう。まず電柱とか道路とか水道とか地域のことを確認する、そのようなマニュアルを作っしてほしいです。

また、先日の台風では防災行政無線の放送が聞き取れなかったとか、何を言っているのかわからないとかあったのですが、自主防はせっきゃくMCA無線機を持っているのだから、防災行政無線の放送と同じものをMCA無線でも流してほしいです。MCA無線機の電源を皆が入れているとは限りませんが、入れている自主防だけでもいいんです。自主防のリーダーに伝われば、会長今何を放送していたんですか、と聞かれても答えることができます。

また台風15号のときに千葉で大規模な停電が起き、停電が復旧したときに被害のあった家屋などから火災が発生するということがありました。ブレーカーをどう動かすかを知らない人も中にはいます。東電さんにはお願いなのですが、防災訓練でブレーカーの訓練をしていただければ、台風とかの停電からの復旧で発生する火災が防げると思っています。是非よろしく願います。

(事務局 原嶋)

災害時における自主防災組織の調査報告マニュアルといったものかと思いますが、こちらにつきましては、既にそのようなマニュアルを作成している自治体もあると思いますので、そういった先進市のマニュアルを参考にしながら、地震及び水害に対応するマニュアルの作成を検討したいと考えております。

あと防災行政無線が聞きづらかったということですが、こちらにつきましては市のほうにも相当な苦情やご指摘の電話が入っております。防災行政無線ですが現在の気密性が高い建物では、室内に居たらほぼ聞こえませんが、風雨が強い中では屋外でも聞き取りづらく、現代においてはほぼ無力なものではないかとも感じておまして、防災行政無線はアラームのようなもの、何か放送しているぞ、何かあったぞと気づいてもらうものとして役に立つのかなと考えております。またMCA無線ですが、おっしゃるような避難勧告等の発令時における自主防災組織向けの運用も検討したいと考えております。

(東京電力パワーグリッド 東谷委員)

ブレーカーの訓練については、11月の小金井市総合防災訓練で、感震ブレーカーのデモ機を持ち込んで訓練を行い、私も参加させていただく予定です。千葉の台風15号の停電につきましては、復旧までには当初の見込みより大変な時間を要し、停電地域の皆様には大変なご迷惑をおかけしたところです。台風15号の被害は非常に激甚化しており、東京電力一社だけで対応するのは難しく、他の電力会社からの応援を得て作業に取り掛かったのですが、どこが被害にあっているのかという把握も困難な状況の中、復旧に取り組んでいたところです。市民の方々からの通報というのは非常に貴重で有難いものですが、できれば画像があって、現場の様子分かるもの、電柱番号がわかるものであればより有難いです。そうであれば作業員が現場に直行して迅速な対応をすることもできるかと思います。

(公募 中村委員)

自主防災組織のマニュアルなら武蔵野市が持っていますので参考にいただければと思います。あと感震ブレーカーは、ちょっと思うところがあって、地震が起きて逃げなければいけない時に真っ暗になってしまうということがある。そのあたりは訓練の中で伝えてほしいです。

(東京電力パワーグリッド 東谷委員)

感震ブレーカーですが、今どきのものはタイマー付きで地震が発生してから3分後にブレーカーが落ちる機能や、そのブレーカーが落ちるまでアラーム音が鳴ってもうすぐブレーカーが落ちることをお知らせする機能がついているものもありますので、そのあたりもご紹介できればと思います。

(会長)

他には何か、ご意見ご質問はございますか。

(公募 土屋委員)

土砂災害の避難勧告の話がありましたが、自分の住んでいるところはどのような危険性があるかを把握することが大事と思いますが、その土砂災害警戒区域のような、がけが崩れるような危ないところには住むことを規制するような、人を住まわせないまちづくりというのは考えられないかと思いますがどうでしょうか。

(「今住んでいる人もいるから難しいね」等の声あり)

(会長)

土砂災害から市民を守るひとつの方法として貴重なご意見と思います。ご意見ありがとうございます。他には、ご意見ご質問はございますか。

(小金井市民生委員児童委員協議会 立石委員)

先日の台風19号の時には、各地域の民生委員が要支援者を訪問しました。要支援者の方々からは声をかけてもらって安心したというお言葉も頂いているところです。簡単ですがご報告させていただきます。

(会長)

民生委員の皆様には台風のなか、丁寧に声かけ等を行っていただき本当に感謝しております。ご

報告ありがとうございました。

その他、よろしいでしょうか。何かございますでしょうか。事務局の方から何かありますか。

それでは以上を持ちまして令和元年度第1回小金井市防災会議を終了させていただきます。

本日は何かとお忙しい中、委員の皆様方にはお集まりいただきまして誠にありがとうございました。

## 6 閉会